

# ～せます。／～させます。 使役 (2)

## 《基本文》

- 1 みんなを 笑わらわせます。
- 2 母親はは おやは 子こどもを 買物かいものに 行いかせます。

## 練習

- 1 例；みんなが 笑わらいます。→ みんなを 笑わらわせます。
  - (1) 子こどもが 泣なきます。
  - (2) 父ちちが 怒おこります。
  - (3) 観客かんきゃくが 感かん動どうします。
  - (4) 友ともだちが びびっくりしします。
  - (5) 両親りょうしんが 安あん心しんします。
  - (6) 先生せんせいが ががっかりしします。
- 2 例；子こどもが 買物かいものに 行いきます。→ 子こどもを 買物かいものに 行いかせます。
  - (1) 社員しゃいんが 日にち曜よう日びも 働はたらきます。
  - (2) 息子むすこが アメあリカへ 留りゅう学がくします。
  - (3) 子こどもが お風ふう呂ろに 入はいります。
  - (4) 鈴木すずきさんが 大おお阪さかに 転てん勤きんします。
  - (5) 部ぶ下かが 九きゅう州しゅうへ 出しゅつ張ちやうします。
  - (6) 妹いもうとが 家いえで 遊あそびます。
  - (7) 佐藤さとうさんが うちへ 帰かえります。
  - (8) 弟おとうとが 郵ゆう便びん局きょくへ 行いきます。
- 3 例；「買物かいものに 行いきます」母はは親おや→子こども  
→ 母はは親おやは 子こどもを 買物かいものに 行いかせます。
  - (1) 「家いえへ 帰かえりました」先せん生せい→佐藤さとうさん
  - (2) 「長崎ながさきに 転てん勤きんします」部ぶ長ちやう→鈴木すずきさん
  - (3) 「パぱリへ 留りゅう学がくしました」父ちち親おや→息子むすこ
  - (4) 「家いえで 遊あそびます」姉あね→妹いもうと
  - (5) 「お風ふう呂ろに 入はいります」母はは親おや→子こども
  - (6) 「日にち曜よう日びも 働はたらきます」社しゃ長ちやう→社しゃ員いん
  - (7) 「笑わらいます」スすタたツつさん→みみんんな
  - (8) 「ががっっかりりしました」わわたし→両親りょうしん
  - (9) 「郵ゆう便びん局きょくへ 行いきます」姉あね→弟おとうと
  - (10) 「駅えきへ 急いそぎぎます」友ともだち→わわたし



4 例; 夕方 忙しかったので、母親は 子どもを 買物に 行かせました。

(1) スタットさんは、いつも おもしろいことを 言って、

\_\_\_\_\_。

(2) 父親は 子どもの将来を 考えて、\_\_\_\_\_。

(3) わたしは 父の大切な花瓶を 壊してしまって、\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_。

(4) 今日は 雨なので、\_\_\_\_\_。

(5) 仕事で、家族旅行に 行けなくなって、\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_。

(6) 「遅刻するから」と言って 友だちは \_\_\_\_\_。

(7) 朝ねぼうを してしまったので、\_\_\_\_\_。

(8) 長かった髪を 突然 短く 切って、\_\_\_\_\_。

(9) あの会社は 昼も夜も \_\_\_\_\_。

(10) 切手が なくなったので、父は \_\_\_\_\_。

(11) 課長が 今度の会議に 出席できないので、\_\_\_\_\_。

(12) 兄弟げんかを して、ぼくは \_\_\_\_\_。

(13) 子どものときは やんちゃで、\_\_\_\_\_ が、

大人になって 就職も 結婚も うまくいって、\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ことが できました。

例; 子どもが 買物に 行った

ぼくが 郵便局へ 行った

二人の息子が カナダへ 留学した

友だちが びっくりした

家族が がっかりした

わたしが 急いだ

弟が 泣いた

親が 安心する

みんなが 笑った

父が 怒ってしまった

子どもが 家の中で 遊んだ

友だちが 2時間も 待った

山本さんが その会議に 出席した

親が 心配した

社員が 働く



～させてください。／～ていただけませんか。

《基本文》

- 1 今日<sup>きょう</sup>は 早く<sup>はや</sup> 帰<sup>かえ</sup>らせてください。
- 2 ここで 待<sup>まち</sup>たせていただけませんか。
- 3 わたしを 笑<sup>わら</sup>わせないでください。

練習

1 例；すみません。今日<sup>けい</sup>は 少<sup>すこ</sup>し 早<sup>はや</sup>く (帰<sup>かえ</sup>ります)。

→ すみません。今日<sup>けい</sup>は 少<sup>すこ</sup>し 早<sup>はや</sup>く 帰<sup>かえ</sup>らせてください。

(1) すみません。2時間<sup>じかん</sup>ほど パソコンを (使<sup>つか</sup>います)。

(2) すぐ<sup>き</sup>に 来<sup>き</sup>ますから、ちよつと ここに 荷物<sup>にもつ</sup>を (置<sup>お</sup>きます)。

(3) 荷物<sup>にもつ</sup>が 多<sup>おほ</sup>いなら、うち<sup>うち</sup>の社員<sup>しゃいん</sup>に (持<sup>も</sup>ちます)。

(4) いつも ごちそう<sup>ごちそう</sup>になっているので、今日<sup>けい</sup>は わたしに (払<sup>はら</sup>います)。

(5) A: もう 9時<sup>じ</sup>過ぎ<sup>す</sup>だよ。

B: では 先<sup>さき</sup>に 子<sup>こ</sup>どもを お風呂<sup>ふろ</sup>に (入<sup>はい</sup>ります)。

A: うん、わかつた。

(6) A: ぼくと 結<sup>けっ</sup>婚<sup>こん</sup>してください。

B: それは…。少<sup>すこ</sup>し (考<sup>かん</sup>えます)。

(7) A: わたしたちの 結<sup>けっ</sup>婚<sup>こん</sup>式<sup>しき</sup>で スピーチを お願<sup>ねが</sup>いしたいんですが。

B: スピーチは 苦<sup>にが</sup>手<sup>て</sup>なので歌<sup>うた</sup>を (歌<sup>うた</sup>います)。

A: とても うれしいです。じゃ、歌<sup>うた</sup>を お願<sup>ねが</sup>いします。

(8) A: 今<sup>こん</sup>度<sup>ど</sup> うち<sup>うち</sup>の学<sup>がく</sup>生<sup>せい</sup>の中<sup>なか</sup>から 3名<sup>めい</sup>、カナダに 留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>させることになりました。

B: ぜひ わたしに (行<sup>い</sup>きます)。

A: 試<sup>し</sup>験<sup>けん</sup>が あるから、今<sup>こん</sup>月<sup>げつ</sup>中<sup>ちゅう</sup>に 申<sup>もう</sup>し込<sup>こ</sup>んでおきなさい。

2 例；すみません。(あした 休<sup>やす</sup>みます) か。

→ すみません。あした 休<sup>やす</sup>ませていただけませんか。

(1) A: 山<sup>やま</sup>田<sup>だ</sup>先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup> いらっしゃいますか。

B: 今<sup>いま</sup> 授<sup>じゆ</sup>業<sup>ぎょう</sup>中<sup>ちゅう</sup>なんですが、あと 10分<sup>ぶん</sup>ぐらいで 終<sup>お</sup>わります。

A: では こちらで 少<sup>すこ</sup>し (待<sup>まち</sup>ます) か。

B: ええ、どうぞ。

(2) A: あした こちらの教室 空いていますか。

B: ええ、午後は 空いています。

A: あした ミーティングを したいんですが 3時から (こちらの教室を 使います) か。

B: ええ、いいですよ。

(3) A: さあ 今日中に これを 全部 片付けよう。

B: あの…すみません。今日は (少し 早く 帰ります) か。

A: え、困ったなあ。どうして 早く 帰るんですか？

B: 今 電話があつて、急に 母が来ることになって…。

A: それじゃ、仕方ないね。

3 例; わたしは 笑いたくないです。→ わたしを 笑わせないでください。

(1) わたしは 心配したくないです。 (2) わたしは 驚きたくないです。

(3) わたしは 怒りたくないです。 (4) わたしは 泣きたくないです。

4 例; (笑いたくない) → 笑わせないでください。

(1) ビルさんの話は おもしろいですが、おなかが 痛くなるので、これ以上 (笑いたくない)。

(2) あなたは いつも 心配ばかりかけていますが、もう これ以上 (心配したくない)。

(3) おじいちゃんは今 90歳なんですよ。何か あつたら 大変ですから (驚きたくない)。

(4) どうして そんなことばかりするんですか。(わたしは 怒りたくない)。

(5) 悲しい 出来事が 続きましたから、もう これ以上 (わたしは 泣きたくない)。

## 対話

A: わっ！！

B: ああ、驚いた。

A: あははは…。

B: お茶をこぼしそうになっちゃった。

びっくりさせないでくれよ。

### 入れ替えよう

びっくりした -

ご飯が喉につまりそうになりましたよ

- 驚かせないでくださいね

ははおや こ かいわ  
母親と子どもの会話

かいわ ぶん よ しつもん こた  
会話を読んで、あとの質問に答えなさい。

はは おや  
母親：にんじんも食べてね。

子ども：嫌だ。嫌いだから食べない!

はは おや た  
母親：食べないと、元気になりませんよ! ぜったい食べなさい!

子ども：いや。まずいから嫌だよ!

はは おや こんど にちようび つ  
母親：じゃあ、今度の日曜日、ディズニーランドに連れて行ってあげません!

子ども：嫌だ! いや! 連れて行って!

はは おや た  
母親：じゃあ、にんじんを食べなさい!

子ども：ちょっとでもいい?

はは おや た  
母親：ちょっとでもいいから、食べなさい。

子ども：わかったよ。食べるよ。(子どもは、まずそうに食べる)

はは おや  
母親：えらい。えらい。

ただ  
正しいものに○をしなさい。

1. 母親は子どもをディズニーランドに行かせた。
2. 子どもが母親ににんじんを食べさせた。
3. 母親が子どもににんじんを食べさせた。
4. 子どもはにんじんが好きだからよく食べる。

かいわ  
会話

キム：先生、今日、授業の後で、学校のパソコンを使わせていただけませんか。

先生：いいですよ。でも、キムさんは自分のパソコンを持っていたでしょう。

キム：わたしのパソコン、こわれてしまって、今、修理をしているんです。

先生：ああ、そうなんですか。じゃあ、授業が終わったら事務所にきてください。すぐに使えるようにしておきますね。

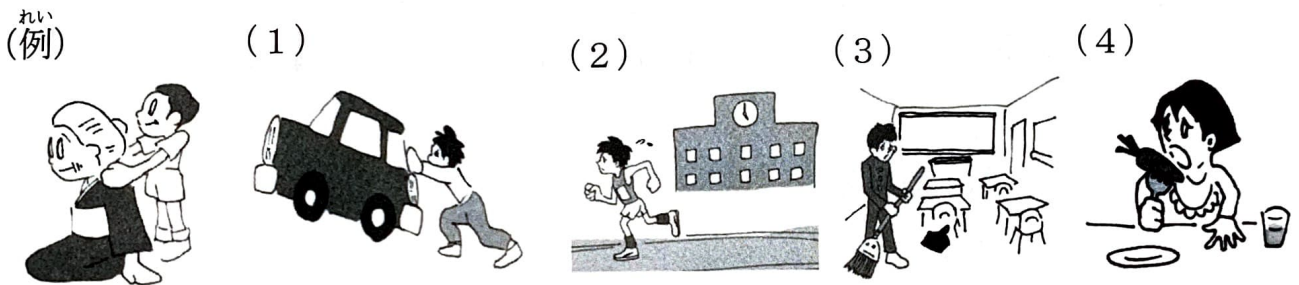
キム：ありがとうございます。

# 練習問題 1

もんだいⅠ <sup>れい</sup>例を見<sup>み</sup>て書<sup>か</sup>きましょう。

(例) <sup>れい</sup> 読 <sup>よ</sup> みます	読 <sup>よ</sup> ませます	(8) <sup>かえ</sup> 帰 <sup>かえ</sup> ります	
(1) <sup>ある</sup> 歩 <sup>ある</sup> きます		(9) <sup>た</sup> 食 <sup>た</sup> べます	
(2) <sup>はな</sup> 話 <sup>はな</sup> します		(10) <sup>と</sup> 止 <sup>と</sup> めます	
(3) <sup>てつだ</sup> 手 <sup>てつだ</sup> 伝 <sup>てつだ</sup> います		(11) <sup>しら</sup> 調 <sup>しら</sup> べます	
(4) <sup>すわ</sup> 座 <sup>すわ</sup> ります		(12) <sup>おぼ</sup> 覚 <sup>おぼ</sup> えます	
(5) <sup>か</sup> 書 <sup>か</sup> きます		(13) <sup>だ</sup> 出 <sup>だ</sup> します	
(6) <sup>はし</sup> 走 <sup>はし</sup> ります		(14) <sup>き</sup> 来 <sup>き</sup> ます	
(7) <sup>の</sup> 飲 <sup>の</sup> みます		(15) <sup>し</sup> し <sup>し</sup> ます	

もんだいⅡ <sup>え</sup>絵を見<sup>み</sup>て答<sup>こた</sup>えましょう。



(例) <sup>れい</sup>わたしは<sup>まご</sup>孫<sup>まいにち</sup>に毎日 ( <sup>かた</sup>肩 ) を たたかせています。

(1) <sup>くるま</sup>車<sup>くるま</sup>が ( ) したので友<sup>とも</sup>だちに \_\_\_\_\_。

(2) コーチは<sup>せんしゅ</sup>選手<sup>せんしゅ</sup>に ( ) を \_\_\_\_\_。

(3) <sup>せんせい</sup>先生<sup>がくせい</sup>は学生<sup>がくせい</sup>に ( ) を \_\_\_\_\_。

(4) <sup>ははおや</sup>母親<sup>こ</sup>は子ども<sup>こ</sup>に ( ) を \_\_\_\_\_。

<sup>かた</sup> 肩	グラウンド	<sup>きょうしつ</sup> 教室	<sup>こしょう</sup> 故障	にんじん
-----------------	-------	---------------------	--------------------	------

もんだいⅢ <sup>ぶん</sup>文<sup>か</sup>を書<sup>か</sup>きましょう。

(例) <sup>れい</sup>先生<sup>せんせい</sup> → <sup>がくせい</sup>学生<sup>ほん</sup> 「<sup>よ</sup>本<sup>よ</sup>を<sup>よ</sup>読<sup>よ</sup>みなさい」

先生は学生に本を読ませました。

(1) <sup>じむしょ</sup>事務所<sup>ひと</sup>の人<sup>ひと</sup> → <sup>がくせい</sup>学生<sup>じゅうしょ</sup> 「<sup>でんわばんごう</sup>住所<sup>でんわばんごう</sup>と電話<sup>か</sup>番号<sup>か</sup>を書<sup>か</sup>きなさい」

(2) 部長 <sup>ぶちやう</sup> → スタットさん 「資料 <sup>しりよう</sup>をコピーしなさい」

(3) 母 <sup>はは</sup> → 弟 <sup>おとうと</sup> 「薬 <sup>くすり</sup>を飲 <sup>の</sup>みなさい」

(4) 先生 <sup>せんせい</sup> → 学生 <sup>がくせい</sup> 「日本語 <sup>にほんご</sup>で作文 <sup>きくぶん</sup>を書 <sup>か</sup>きなさい」

#### もんだいⅣ 例 <sup>れい</sup>を見 <sup>み</sup>て書 <sup>か</sup>きましょう。

(例) リーさん → みんな ( 笑 <sup>わら</sup>いました )

→ リーさんはみんなを笑 <sup>わら</sup>わせました。

(1) 子ども <sup>こ</sup> → 親 <sup>おや</sup> (心配 <sup>しんぱい</sup>しました) → \_\_\_\_\_

(2) わたし → 彼女 <sup>かのじよ</sup> (怒 <sup>おこ</sup>りました) → \_\_\_\_\_

(3) 学生 <sup>がくせい</sup> → 先生 <sup>せんせい</sup> (喜 <sup>よろこ</sup>びました) → \_\_\_\_\_

(4) 友 <sup>とも</sup>だち → わたし (おどろ <sup>おどろ</sup>きました) → \_\_\_\_\_

→ \_\_\_\_\_

#### もんだいⅤ 文 <sup>ぶん</sup>を書 <sup>か</sup>きましょう。

(例1) 今日 <sup>けふ</sup>は早 <sup>はや</sup>く帰 <sup>かえ</sup>りたいです。お願 <sup>ねが</sup>いします。

→ 今日は早 <sup>はや</sup>く帰 <sup>かえ</sup>らせてください。

(例2) こゝで待 <sup>ま</sup>ちたいです。い <sup>い</sup>いですか。

→ こゝで待 <sup>ま</sup>たせていただけ <sup>い</sup>ますか。

(例3) わたしは笑 <sup>わら</sup>いたくないです。

→ わたしを笑 <sup>わら</sup>わせな <sup>い</sup>いでください。

(1) 部長 <sup>ぶちやう</sup>の仕 <sup>し</sup>ごとを手 <sup>て</sup>伝 <sup>つた</sup>りたいです。お願 <sup>ねが</sup>いします。

(2) そのカ <sup>か</sup>タログが <sup>み</sup>見 <sup>み</sup>たいです。い <sup>い</sup>いですか。

(3) ちょっと、こゝで休 <sup>やす</sup>み <sup>み</sup>たいです。お願 <sup>ねが</sup>いします。

(4) わたしはび <sup>び</sup>っく <sup>く</sup>り <sup>り</sup>したくないです。

## 練習問題 2

**もんだい I** 例を見て書きましょう。

(例 1) ご飯をたべます

母親 ( は ) 子ども ( に ) ご飯を 食べさせ ます。

(例 2) 学校へ行きます

母親 ( は ) 子ども ( を ) 学校へ 行かせ ます。

(1) 仕事を手伝います

部長 ( ) 今井さん ( ) 仕事を \_\_\_\_\_ ました。

(2) 泣きます

姉 ( ) 妹 ( ) \_\_\_\_\_ ました。

(3) 宿題をします

父 ( ) 弟 ( ) 宿題 ( ) \_\_\_\_\_ ました。

(4) 早く帰ります

先生 ( ) ワンさん ( ) 早く \_\_\_\_\_ ました。

(5) ピアノを習います

母 ( ) わたし ( ) ピアノを \_\_\_\_\_ ました。

**もんだい II** どちらがいいですか。正しい方に○を書きましょう。

(例) ワンさんが話しました。それを聞いて、みんなは笑いました。

(みんなはワンさんに笑われました。 / ワンさんはみんなを笑わせました。)

(1) 「駅まで車で迎えに来てくれ。」と兄は言いました。わたしは行きました。

(兄はわたしを迎えに来させました。 / わたしは兄を迎えに来させました。)

(2) 「ラジカセを事務室へ持って行って。」と山田先生がリーさんに言いました。

(山田先生はリーさんにラジカセを事務室へ持って行かせました。 /

山田先生はリーさんにラジカセを事務室へ持って来させました。)

(3) 「今日は残業してくれないか。」と課長は部下に言いました。

(部下は課長に残業を頼まれました。 / 課長は部下に残業を頼ませました。)



もんだいⅢ ぶんをよんでこたへましょう。

カルロスさんが山田先生に電話をかけました。(1) ~ (4) のところに、下の a ~ d の中から正しいものを選んで、入れてください。

山田先生：はい、もしもし。

カルロス：もしもし、山田先生ですか。カルロスです。こんにちは。

山田先生：ああ、カルロスさん、こんにちは。元気ですか。

カルロス：はい、元気です。先生、\_\_\_\_\_ (1) \_\_\_\_\_。

山田先生：何ですか。

カルロス：はい。\_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_。

山田先生：え、わたしですか？ ちょっとはずかしいなあ。

カルロス：先生が大学生のときの話とか、外国に行ったときの話を通じて紹介したいんです。

山田先生：ははは、そうですか。じゃあ、いいですよ。

カルロス：そうですか。ありがとうございます。では、\_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_。

山田先生：はい、わかりました。

カルロス：先生、本当にありがとうございます。では、\_\_\_\_\_ (4) \_\_\_\_\_。

山田先生：どういたしまして。じゃ、連絡を待っていますよ。

カルロス：はい、では、失礼します。

山田先生：はい、さようなら。

a. 今度、わたしとわたしの友だちで、先生にインタビューをさせていただきたいんですが、いいですか。

b. わたしたちは留学生の雑誌を作っているんですが、その雑誌で、山田先生を紹介させていただきたいんです。

c. またご連絡します。

d. 実は、お願いがあって、お電話しました。

(1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_ (4) \_\_\_\_\_